

令和 5 年 12 月 12 日 市長定例記者会見あいさつ

先週は比較的暖かい日が続きました。株式会社ウェザーニューズによりますと、この冬は寒暖の差が激しくなることが予想されています。特に 12 月中旬には強い寒気が南下する可能性があるとされており、暖冬傾向であると言われつつも急な寒気、それから積雪には十分お気を付けください。寒暖の差が激しいと体調を崩される方も出ると思います。私事なのですが、私も先週末体調を崩しまして、ちょっとまだ本調子ではありません。「自分は病気になる、大丈夫だ」そういった方は、私になる可能性があります。インフルエンザや新型コロナ感染症も流行っていますので、ぜひ感染対策を実践し、ご自愛いただきながらこの冬を過ごしていただきたいと思います。

先月の 30 日から本日 12 日まで、気候変動対策を話し合う国連の会議「COP28」が、ドバイで開催されています。今月 1 日にはジャパンパビリオンのセミナーの中で、私が那須塩原の環境施策を紹介するビデオメッセージを発表させていただきました。私が直接ドバイに行ったわけではないですが、那須塩原はこれまで CO2 排出量実質ゼロ宣言や全国初となる気候変動適応センターなど、さまざまな環境施策を行ってまいりました。これまで、主にカーボンニュートラルの施策を行ってまいりましたが、今年はそれに「ネイチャーポジティブ」と、「サーキュラーエコノミー」を加えまして、「サステナブルビジョン那須塩原」という新たなビジョンを打ち出しました。環境といえば那須塩原というように、日本全国はもとより世界中に PR をしたいと思っております。なお、私が那須塩原の環境を紹介している COP28 で流れたビデオメッセージは、市の公式 YouTube でも見ることができます。

さて、16 日には、東那須野公民館で、市民の皆様と、新庁舎の設計事業者で日本を代表する建築家である隈研吾氏をお招きして、新庁舎を考えるワークショップを行う予定です。先月の 30 日も、庁内向けに隈研吾氏と共同設計者である安井建築設計事務所の佐野社長、私の 3 人で座談会を行いました。隈氏と、佐野氏に那須塩原の印象を聞くと、二人とも「豊かな自然だ」とおっしゃっておりまして、この那須塩原の景観、環境、そして新庁舎と同時に進めている駅周辺のビジョンづくり、これに沿った新庁舎をつくっていききたいと思います。新庁舎はもちろん行政機能を行う場所ではありますが、それだけではなくて、これからの庁舎というのは、「シティホール」、市民が集う交流の場としても求められていると思います。新庁舎は完成すれば終わりではなくて、計画の段階から駅周辺のビジョンと新庁舎を活用して、那須塩原をどのように豊かな地域にしていくか、そういった新庁舎や駅周辺のビジョンなどを市民の皆様と議論していきたいと思っております。なお、30 日に行われた座談会については後日、動画で配信を行う予定でございますので、そちらを見ていただければと思います。

今年は新型コロナウイルス感染症が 5 類相当になったということで、人流をはじめさまざまな変化がありました。コロナ前に戻ったものもありますし、そうでないものもあります。まだまだ、物価の高騰や緊迫する海外情勢の影響などで、さまざまな困難があります。一方で、那須塩原の場合は、コロナでテレワークやリモートワークが普及し、移住者が増え、ピンチもあるしチャンスもある、と思っております。

移住者が増えている今だからこそ、那須塩原の魅力を全国に発信し、多くの方に来ていただいて、住んでいただきたいと思っておりますし、那須塩原市の魅力は、私たちが住んでいる、日頃何気なく過ごしているこの「那須塩原 Life」だと思っています。首都圏にそう遠くない距離で豊かな自然に囲まれ、おいしい食事をとることができる。さまざまな魅力があります。この「那須塩原 Life」を今、駅前に再現をしたい。そのためには、市民の皆様の力が必要です。既に住んでいらっしゃる方々にはより住みやすいまちづくりに来年も引き続き取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。